

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月11日

【評価実施概要】

事業所番号	0176400257		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホーム 別苑		
所在地	北海道増毛郡増毛町別苑175番1 (電話) 0164-53-9888		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年7月10日	評価確定日	平成21年7月23日

【情報提供票より】(平成21年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 (平成) 14年 11月 24日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4人, 非常勤 5人, 常勤換算	6.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ銅版葺 造り		
	2階建ての ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	6,300~18,900 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	252 円	昼食	305 円
	夕食	388 円	おやつ	105 円
	または1日当たり 1,050 円			

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 85歳	最低	62歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	増毛診療所・川上内科医院・しょかん歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

毎月「ましけ～る新聞」を発行して、事業所の活動内容や取り組み、認知症コラム、いきいき健康教室等の記事を掲載し、町内に約2000部を配布して認知症に対する理解や広報に取り組んでいる1ユニットのグループホームです。また、地元小学校の「運動会」「カムイト祭り」の参加や相互訪問などで交流を深めたり、父兄や地元の人々との焼肉パーティー参加などで地域に密着した活動にも取り組んでいます。地元食材の「山の幸」「海の幸」を中心に季節感のある食事を楽しめる取り組みや法人グループ内に「運営向上委員会」を組織して、事業所間の内部評価を実施し課題を明確にして具体的にケアサービスの質の向上に活かされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催が課題として挙げられていましたが、年間6回の運営推進会議の年間計画が立案されて事業所の取り組みや運営方針について具体的に話し合わせ、そこでの意見をケアサービスの質の向上に活かされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して新たな気づきや振り返りの機会として利用され、運営向上委員会で具体的な改善の機会として取り組まれています。また、外部評価の結果についても運営推進会議で報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年間計画通りに実施され主な議題については、運営推進会議開催の目的について 運営理念と運営目的について 平成21年度年間行事予定について ホームの活動状況について 事業所への要望・助言について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「もえからのお手紙」や「一人ひとりの毎日の生活の様子」を毎月発行して、認知症コラムの掲載や日常の暮らしぶりを情報提供して、来訪時には意見や不安など言い表せる機会を設けています。また、家族懇談会を実施して、家族の意見、苦情など話し合わせそれらを運営に活かす取り組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地元小学校の「運動会」「カムイト祭り」の参加や相互訪問などで交流を深めたり、父兄や地元の人々との焼肉パーティー参加などで地域に理解される活動にも取り組んでいます。また、地元商店での買い物で季節の食材購入を心がけるなど地域貢献への取り組みや併設されているデイサービスで地域の人たちとの交流など地域との連携が行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の運営理念をもとに、年間目標を具体的に設定して職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念を共有し、具体的な年間目標を掲げ運営向上委員会でその実践に向けて具体的に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元小学校の「運動会」「カムイト祭り」の参加や相互訪問などで交流を深めたり、父兄や地元の人々との焼肉パーティー参加などで地域に理解される活動にも取り組んでいる。また、併設されているデイサービスで地域の人たちとの交流など地域との連携が行われている。		特筆すべき点として、毎月「ましけ～る新聞」を発行して、事業所の活動内容や取り組み、認知症コラム、いきいき健康教室等の記事を掲載し、町内に約2000部を配布して認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して新たな気づきや振り返りの機会として利用され、運営向上委員会で具体的な改善の機会として取り組まれている。また、外部評価の結果についても運営推進会議で報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年間6回の運営推進会議の年間計画が立案されて事業所の取り組みや運営方針について具体的に話し合われている。委員は、家族、増毛町職員、小学校校長、駐在所警察官、自治会役員、管理者・職員で構成され具体的に取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>センター長及び管理者は、増毛町職員と介護保険制度や日々の情報交換とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「もえからのお手紙」や「一人ひとりの毎日の生活の様子」を毎月発行して、認知症コラムの掲載や利用者の日常の暮らしぶり、行事参加の様子など家族に情報提供されている。また、金銭管理についても定期的に報告されている。</p>		<p>特筆すべき点として、認知症コラムを便りに連載して、認知症への理解と広報に取り組んでいます。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族懇談会を実施して、家族の意見、苦情など話し合わせそれらを運営に活かす取り組みが行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>センター長及び管理者は、職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、「もえからのお手紙」や家族懇談会で職員の紹介や利用者の日常生活の様子など情報を提供している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>社内研修の年間計画を立てて内部研修を充実させ働きながらトレーニングしていくことを進めている。また、資格取得や外部研修参加を奨励し、職員を育てる取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同一地域に同業者は少なく交流が希薄だが、運営向上委員会を通じて法人グループ間の他施設との交流などケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して納得したサービスが受けられるように入居前には、併設されているデイサービスの利用や利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に調理や食事の準備、後片付けや掃除など行い本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて散歩や買い物、小学生との相互訪問や交流、地域の祭り参加、花壇づくりや音楽療法などへ参加など本人本位に検討している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の希望や要望に応じて通院や買い物、音楽療法や機能訓練への参加など事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者を良く知る主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から医師の助言を受けながら本人や家族と相談しながら職員間で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応が行われ、記録等の個人情報の扱いについても配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、散歩や買い物、食事の準備・後片付け、編み物、花壇の手入れ、音楽療法や体操への参加など本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、一緒になって楽しんで食事の準備や後片付けをしている。また、お米は地域の農家から直接仕入れて食の安全に配慮している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週3回(月、水、金)一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。また、デイサービスの大浴場も利用したりしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら散歩や買い物、小学校の運動会や地域のお祭り参加など戸外に出かける取り組みが行われている。また、嚙下体操や音楽療法への参加を通じて身体機能の維持・向上ができるように支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「えび祭り」や盆踊り参加、食材購入などの買い物や散歩、中庭での焼肉や流しソーメン、小学校の運動会や学芸会見物など地域の行事への参加など一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>春、秋の年2回火災避難訓練や消火訓練、避難誘導訓練や救急救命訓練が実施されている。また、地域の協力が得られるように日頃より働きかけている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され、具体的な水分・食事摂取量が記録され、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内の共用空間から日本海が一望でき夕日や漁火が見えて季節感が感じられる。また、中庭では、焼肉パーティーや流しソーメンなどが行われたり、日光浴を楽しめるベンチが用意されている。利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や生活用品などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、家族も宿泊でき利用者と一緒に過ごすことも可能となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。